

市独自の物価高騰対策を求め賛成

日本共産党市議団は、市民のみなさんや団体等から寄せられた声を取りまとめた「2024年度予算・市政運営の要望書」を提出し、戸田市の豊かな財政をくらしと生業の隅々に活かすよう求めてきました。

2024年度予算では、党市議団が早期実現を求めてきた要望や他重要な事業が予算化されました。2024年度の市政運営において、物価高騰の中「誰ひとり取り残さない市政の実現」のため、国の交付金を待つことなく、様々な物価高騰対策を迅速に実施することを要望し(裏面)、戸田市一般会計予算に賛成しました。



本田 哲



むとう 葉子



花井 伸子

戸田市「ゼロカーボンシティ」宣言を表明

喫緊の課題として、地球温暖化解消に向けて「2050年ゼロカーボンシティ宣言」の早期表明と、温室効果ガス削減、脱炭素社会の実現にむけての取り組み強化を求めてきました。市長は議会終了後に表明を約束。(3月27日に表明しました)



◎「省エネ家電買換補助金」の創設

エアコン・冷蔵庫への買い替えに対する補助。(その他、既存の補助事業は引き続き実施されます)

◎「戸田市中心小企業カーボンニュートラル促進事業費補助金制度」の創設

◎「公共施設等の太陽光発電導入調査」の実施

◎「カーボンオフセット」の実施

美里町との森林整備協定を締結、植樹体験バスツアー(環境教育)

◎公共施設への再エネ100%電力の調達

こども医療費「通院費」 高校3年生相当の年齢まで拡大

(7月から実施)

長年にわたり「お金の心配をせず治療をしたい」との保護者の願いを受け、市民のみなさんと取り組んできました。

補聴器購入費助成制度が実現

(4月から実施)

再三の一般質問、市民団体から提出された請願の紹介議員となり取り組みました。

対象者 65歳以上の高齢者

限度額 4万円(一人一回限り)



(イメージ写真)

民間保育士の確保のための処遇改善

◎「戸田市宿舎借上げ支援事業」の継続

「戸田市宿舎借上げ支援事業」は、1年ごとに延長が検討されてきましたが、毎年継続して予算化されます。

◎「民間保育士への給与上乗せ」毎月34,000円

(2024年3月から前倒しで実施)

大災害への備え・浸水対策

「トイレ」「蓄電池」「発電機」などの災害備蓄品の強化

「北大通り」「市役所南通り」、「上戸田川」、「さくら川」の浸水対策の強化

市民負担増・サービス削減には反対、もっと財政力活かして!

介護保険料引き上げ

2024年度からの介護保険料は、基準額、年間76,800円が年間77,400円となり600円増額。

最も引き上げ額が大きい12段階は年額153,600円が178,000円となり24,400円も引き上がります。

(右表)

法改正による訪問介護の報酬も引き下げられ、ヘルパー事業所の運営が困難になり、高齢者の在宅介護への影響が危惧されます。



所得段階		保険料年額(円)		
		現行	改正後	
第1段階	本人非課税 世帯	23,000	22,000	↓
第2段階		38,400	37,500	↓
第3段階		53,700	53,000	↓
第4段階		61,400	61,900	↑
第5段階		76,800	77,400	↑
第6段階	本人課税	92,100	92,800	↑
第7段階		99,800	100,600	↑
第8段階		115,200	116,100	↑
第9段階		130,500	131,500	↑
第10段階		138,200	147,000	↑
第11段階		145,900	162,500	↑
第12段階		153,600	178,000	↑
第13段階		165,100	185,700	↑
第14段階		176,600	193,500	↑
第15段階		192,000	201,200	↑
第16段階		211,200	216,700	↑
第17段階		230,400	232,200	↑

基準額

歩行補助のつえ500円にアップ

100円で支給されていたものが500円へ引き上げ。高齢者の生活を圧迫するとともに、これまでの市民サービスが後退することから反対しました。

学校体育館空調使用料1時間500円に

市は、学校体育館を使用する団体と使用しない市民との負担の公平性を確保するとして、学校体育館の空調使用料を1時間500円に設定しました。生涯スポーツ推進や熱中症対策として考えると使用料は徴収せず、市が負担すべきです。

財政調整基金に30億円積み増し

2023年度末補正予算で、約30億円を財政調整基金に積み立てました。財政調整基金の目的に照らし、一定額を積み立てることは必要です。しかし、市民からは、物価高騰の影響により「生活が厳しい」と訴える声が届いています。年度末に、余剰金が出たのであれば、もっと積極的に市民生活に活かすべきです。



本田 哲議員

●市の独自財源で 物価高騰対策の実施を

本田 2024年度の一般会計予算は625億円で前年度比49億円増、市税収入は6億円の増収を見込んでいる。市の独自財源で、これまで喜ばれた上下水道基本料金の免除、給食費の無償化継続、敬老祝品1万円贈呈などの物価高騰対策を実施しては。
市長 物価高騰は全国的な課題であり、国が主体となって十分に支援を行うことが必要であると考えている。

●子どもの居場所づくりへの財政支援を

本田 現在活動している、子ども食堂や学習支援を実施している団体の運営を支援する補助金制度の創設を。
市長 県や社会福祉協議会が実施している、既存の様々な補助金を活用していただきたい。

●スクールサポーターの毎日配置を

本田 不登校傾向にある児童をサポートする「ばれっとルーム」のスクールサポーターが毎日確保できるよう予算措置を。

市長 「ばれっとルーム」の取り組みは始めたばかり。今後、成果や課題を分析し研究する。

●市内小中学校での警備員の複数配置を

本田 美笹中学校の事件を受けて、外周フェンスや玄関オートロック設置が決まったが、さらなる安全対策強化として、警備員の複数配置が必要ではないか。
市長 新年度の侵入防止対策の整備により、一定の安全性が図られると考えている。警備員の増員は予定していない。

●アンコンシャス・バイアスの解消を

本田 男女共同参画の推進において、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）の解消に向けて取り組むことが重要である。市の見解は。
市長 固定的な性別役割分担意識や性差に関する解消に向けて、市民の意識醸成や啓発活動に取り組む。

その他、

●ひきこもり相談体制の強化について

●災害避難所の段ボールベッドやパーティション等の備蓄品の増設

など質問しました。



むとう 葉子議員

●川岸物流施設における通学路 と近隣道路の安全対策を

むとう 川岸物流施設が今年1月末に完成した。
①施設内の公開空地を通学路としているが、見守り等の安全対策は。
②川岸2丁目交差点に注意喚起、事故の多い川岸交差点に歩車分離信号機設置を。
③都市マスタープランの見直しの中で、市計画における用途地域の変更をどのように考えているか。

答弁 ①戸田第二小学校では通学班会議を行い、教師と児童と一緒に通学路の安全を確認した。今後も児童生徒の安全が守られるよう努める。
②注意喚起と歩車分離信号機設置は今後の交通状況を確認し、蕨警察署に相談する。また、事業者の大型車両運転手に対し、安全運転を促すよう伝える。
③関係権利者との合意形成が重要。地域が一体となる話し合いの場を設け、幅広い方からの意見を聞く。用途地域変更の要望があった際には将来の土地利用方針を検討する。

●戸田市プレミアム付き商品券の改善を

むとう 第2弾(3月開始)と第3弾(秋頃開始)戸田市プレミアム付き商品券の当選率の改善は。誰ひとり取り残さない事業にすため「紙の商品券」の準備を。また、電子アプリに不備があるとの声がある。改善すべき。
答弁 当選率の改善として一人が購入できる上限を3セット(3万円)とし、抽選となった場合の当選率が上がるようセット数を調整する。紙の商品券は手間や経費が掛かるため作らない。電子アプリの改善は第3弾で検討する。

●高齢者のゴミ出しサービスの拡充を

むとう 高齢者や障がい者に対するゴミ出し支援「まごころ収集」を拡充して欲しいとの声がある。現在、利用者は9件で少ない。ホームページやチラシ等での周知徹底を。
答弁 まごころ収集は、収集業者のボランティアによる事業なので、件数が増えた際に新たな制度設計と予算措置を行う必要がある。現在、周知すると混乱する可能性があるため、これまで通り、ケアマネジャーに情報を共有する。
むとう 実際に困っている方々の把握に努め、ゴミ出し支援の拡充を。



花井 伸子議員

●地球温暖化対策は待ったなし 温室効果ガス排出ゼロの目標 必ず達成を

花井 地球温暖化による影響は人間の生存基盤そのものが危機的状況に陥りかねないといわれており、温室効果ガス排出量削減は待ったなしの状況である。「ゼロカーボンシティ宣言」と合せた、令和6年度の具体的な取り組みと、速やかな公共施設への積極的太陽光発電の設置を。

答弁 省エネ家電買い替えに対する補助金の創設、再エネ由来電力への切り替え支援協力金、温室効果ガス排出量可視化等の事業者への補助金、省エネ・再生可能エネルギーの利用拡大、市としては美里町への森林整備によるカーボンオフセット、公共施設への太陽光発電等の導入可

能性調査、公共施設への再エネ100%電力調達を進める。

花井 市民への理解と協力を推進するために、計画期間ごとの数値目標と達成状況の見える化を。さらに、「温暖化対策室」を設置してはどうか。
答弁 一人ひとりが「じぶんごと」として温暖化対策に取り組んで行けるよう、更なる見える化について検討する。また、対策室については関係部署と調整を図りながら手法を検討する。
花井 先進地を学び、国庫補助、新技術の積極的活用で必ず目標達成を。

●ゴミの減量化と集積所対策を

花井 ゴミ集積所の設置場所が見つからず苦慮するところが多くなっている。戸別収集を加える検討をすべきでは。
答弁 戸別収集は分別マナーの向上も見込まれる一方で、コストの増加、収集人員や車両などの体制強化、関係機関や蕨市との調整が必要。先進自治体の例など参考に研究する。

